

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

大学名	東京工業大学
構想名称	日中韓先進科学技術大学教育環
相手大学等名 (国名)	清華大学 (中国)、韓国科学技術院 (KAIST) (韓国)

【構想の目的及び概要】

【構想の目的】

本学は、「世界最高の理工系総合大学の実現」を長期的な目標としているが、このためには、世界の最高水準の理工系大学との連携協力が不可欠である。この連携協力の取り組みのひとつとして、本学は、東アジアの最高水準の理工系大学である中国の清華大学、韓国の韓国科学技術院 (KAIST) との間で人材の育成を目的とした教育研究プログラムを実施する。なお、このプログラムは、本学が長期的な目標の下、米国、ヨーロッパ、そして他のアジア地域における最高水準の理工系大学との間で行なう教育研究の連携協力構想と一体的に実施されるものである。本構想の目的は、以下の三点である。

- ① 交流プログラムの経験を通して培われる、将来の科学技術分野における国際的なキャリア形成に向けた動機づけ
- ② 世界最高水準の研究活動と一体化した教育を通して行なわれる、卓越した科学技術の素養を持つグローバル人材の育成
- ③ 教育制度の異なる大学間における質の高い教育および研究の協力の枠組みの構築 (特に大学院レベルにおける国際的な質の保証制度の確立に向けた取り組み)

【構想の概要】

上記の目的を達成するため、本構想ではそれぞれの目的に対応させた形で、「(1) 学部学生及び大学院修士課程学生を対象とし、科目履修および研究室での実験等をととした国際的な経験を積むことを目的とした教育プログラム (以下、「国際経験型教育プログラム」と呼ぶ。）」、「(2) 大学院課程 (修士、博士) 学生を対象とした研究を重点に置いた教育プログラム」、そして「(3) 共同プログラムの実施における質の高い履修成果の認定および研究成果の評価の枠組みの構築」として実施する。

「(1) 国際経験型教育プログラム」は、学部の3年次終了以上の者および修士課程学生を対象としたプログラムで、「(a) セメスター単位の科目履修や研究室での実験等のプログラム」と、「(b) 研究経験を含むサマープログラム」により構成される。多くの学生は、はじめて国際的な機会に触れることを念頭に、派遣先の国の文化や言語を学び、また、科目履修や実験室での小規模な研究プロジェクトを行うなどにより、国際的なキャリア形成に向けた動機づけとなるよう制度設計がされている。

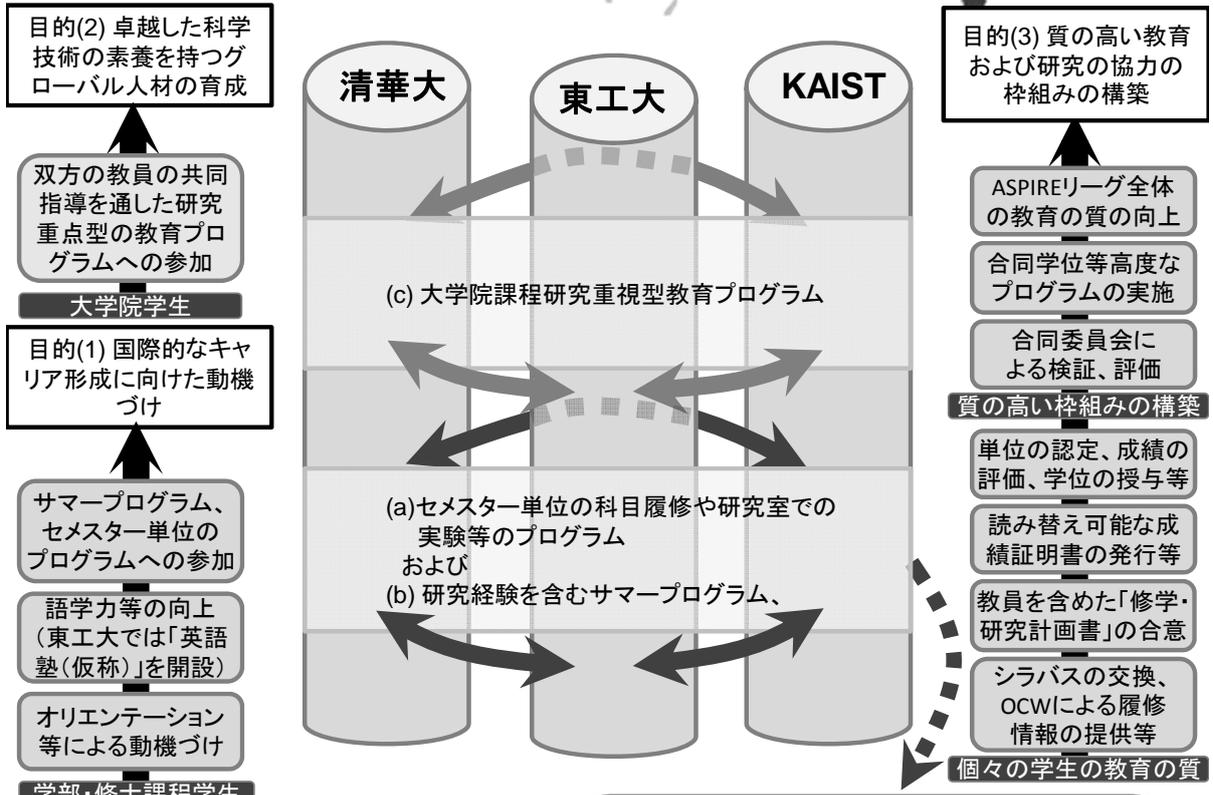
「(2) 大学院課程 (修士、博士) 学生を対象とした研究を重点に置いた教育プログラム」は、「(c) 大学院課程研究重視型教育プログラム」との呼称で実施するもので、三大学間の研究室の間の研究を中心とした関係の中において大学院の教育課程の一部を組み込むことにより、参加学生が研究の視野を広げ、高い成果を挙げることを目的に計画されたプログラムで、学生は二大学 (または三大学) の教員から共同で指導を受けることにより学位 (いわゆるデュアルディグリーを含む) の取得に向けた研究を行う。

これら (1)、(2) のいずれのプログラムも、三大学の共通の認識のもと、合同委員会 (Joint Committee) を設置し、「(3) 共同プログラムの実施における質の高い履修成果の認定および研究成果の評価の枠組みの構築」を行うこととしている。三大学は、それぞれが独自の質の保証の制度を有し、これに基づき高い水準の教育を行っている。それぞれの質の保証の制度については、必ずしも三大学間で共通化できるものではないが、上記「(1) 国際経験型教育プログラム ((a)および(b))」、および「(c) 大学院課程研究重視型教育プログラム」の実施にあたっては、いずれの大学の質の要件も満たす形で実施する。また、参加学生の履修成果の認定や研究成果の評価においては、相手大学の質の保証制度を尊重したうえで、自身の大学においてその成果を適正に読み替える制度を整えることにより、高い教育研究効果を上げることができるようになる。

[構想の概念図]

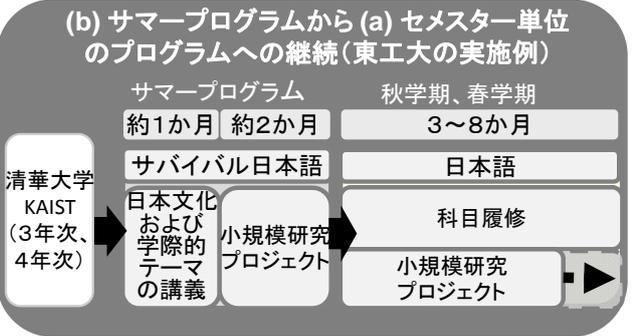
東京工業大学 - 清華大学 - 韓国科学技術院
日中韓先進科学技術大学教育環

東工大が主導して展開する世界の理工系トップ大学のネットワーク



東工大における取り組み

- ・ファカルティ開発の実施
- ・専任の留学アドバイザー、プログラムコーディネーターの配置
- ・留学先で取得した科目の認定ガイドラインの制定、新たな書式の成績証明書の採用、合同学位プログラムに関するガイドラインの制定等、関連の規程、制度等の整備
- ・清華大学との間の大学院合同プログラムの継続的な実施と本構想へのフィードバック



平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京工業大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	日中韓先進科学技術大学教育環
<p>〔評価コメント〕</p> <p>これまでの交流実績（清華大学との取り組み）をベースに提携先の大学とダブルディグリー制度の実現に向けて具体的な協議を進めており、質の保証システムもこれまでの実績を踏まえた実現性の高い内容となっており、学部と大学院プログラムを連携させた意欲的なものである。</p> <p>また、アジア共通課題の解決を目指した域内での人材育成は意義深い取り組みであると言える。</p> <p>なお、アジア共通課題の解決に資する理工系人材について、より具体的な人材育成の内容をモデルとして示すことが望まれる。</p>	